



平成30年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年4月10日

上場会社名 株式会社アイケイ

上場取引所 東名

コード番号 2722 URL <https://www.ai-kei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 飯田 裕

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理統括 (氏名) 高橋 伸宜

TEL 052-856-3101

四半期報告書提出予定日 平成30年4月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年5月期第3四半期の連結業績(平成29年6月1日～平成30年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年5月期第3四半期	13,450	20.5	608	44.3	607	44.8	426	38.2
29年5月期第3四半期	11,165	7.5	421	220.2	419	277.8	309	613.4

(注)包括利益 30年5月期第3四半期 425百万円 (36.9%) 29年5月期第3四半期 310百万円 (649.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年5月期第3四半期	57.29	—
29年5月期第3四半期	41.47	—

(注)当社は、平成29年12月1日付及び平成30年4月1日付でそれぞれ普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年5月期第3四半期	5,797	2,268	39.1
29年5月期	5,207	1,898	36.5

(参考)自己資本 30年5月期第3四半期 2,268百万円 29年5月期 1,898百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年5月期	—	0.00	—	30.00	30.00
30年5月期	—	0.00	—		
30年5月期(予想)				10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)平成30年5月期は、平成29年12月1日付で当社普通株式1株を2株に分割しております。また、平成30年4月1日付で当社普通株式1株を2株に分割しておりますので、実質的には当社普通株式1株を4株に分割しております。

この2回に及ぶ株式分割が前連結会計年度(平成29年5月期)の期首に行われたと仮定した場合の前連結会計年度の年間配当金は7円50銭となります。

3. 平成30年5月期の連結業績予想(平成29年6月1日～平成30年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,860	23.5	1,000	79.5	1,010	82.1	690	62.1	92.59

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年5月期3Q	7,808,000 株	29年5月期	7,808,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

30年5月期3Q	355,600 株	29年5月期	355,600 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年5月期3Q	7,452,400 株	29年5月期3Q	7,452,400 株
----------	-------------	----------	-------------

(注)当社は、平成29年12月1日付及び平成30年4月1日付でそれぞれ普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して、「発行済株式数(普通株式)」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想数値及び将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、経営環境の変化等により、本資料の予測数値又は将来に関する記述と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善などを背景に緩やかな回復基調が続いておりますものの、個人が景気の回復を実感するには至らず、海外における経済政策動向には不透明感などがあり、景気回復の先行きには依然として警戒感が必要な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループはリーディングカンパニーの最大条件を「ファンの多さ」と定義づけ「ファンづくり」を経営最大のテーマとして経営理念の実践を重ねております。

当第3四半期連結累計期間におきまして、メーカーベンダー事業では、主にWEB・TVショッピングルート(B to C)及び海外・インバウンドルートが堅調に推移いたしました。また、「美しく生きる・健康に生きる・楽しく生きる」をテーマとした自社開発商品(PB商品)に注力いたしました。

SKINFOOD事業では、日本限定販売の新商品としてブラックシュガーパーフェクトリセットクリーム、コconaツツシュガーマスクウォッシュオフ、チェリーブロッサムグローバルエ디션等の販売を開始いたしました。また、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は直営店20店舗(前年同期末18店舗)、FC店3店舗(前年同期末2店舗)の23店舗(前年同期末20店舗)となりました。

ITソリューション事業では、引き続きビジネス版LINE「Line Works」、チャットシステム「M-Talk」(エムトーク)及び通話録音システム「Voistore」の販売にも注力してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高13,450百万円(前年同四半期比20.5%増)、営業利益608百万円(前年同四半期比44.3%増)、経常利益607百万円(前年同四半期比44.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益426百万円(前年同四半期比38.2%増)となりました。

各セグメントの業績は次のとおりです。

<メーカーベンダー事業>

売上高は12,533百万円(前年同四半期比22.1%増)となり、営業利益は429百万円(前年同四半期比31.8%増)となりました。

<SKINFOOD事業>

売上高は767百万円(前年同四半期比4.6%増)となり、営業利益は180百万円(前年同四半期比92.9%増)となりました。

<ITソリューション事業>

売上高は149百万円(前年同四半期比9.6%減)となり、営業損失は5百万円(前年同四半期は1百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ534百万円増加しました。

主な流動資産の変動は、「現金及び預金」が208百万円、「商品及び製品」が319百万円、それぞれ増加したことによります。

当第3四半期連結会計期間末の固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ55百万円増加しました。

主な固定資産の変動は、「有形固定資産」が18百万円、「無形固定資産」が22百万円、「投資その他の資産」が15百万円、それぞれ増加したことによります。この結果、当第3四半期連結会計期間末の総資産は5,797百万円となり、前連結会計年度末に比べ589百万円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ323百万円増加しました。

主な流動負債の変動は、「短期借入金」が520百万円増加したこと、「買掛金」が185百万円減少したことによります。

当第3四半期連結会計期間末の固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ103百万円減少しました。

主な固定負債の変動は、「長期借入金」が117百万円減少したことによります。この結果、当第3四半期連結会計期間末の負債は3,529百万円となり、前連結会計年度末に比べ220百万円増加しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ369百万円増加しました。主な純資産の変動は、「利益剰余金」が371百万円増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年1月10日の「平成30年5月期 第2四半期決算短信[日本基準](連結)で公表いたしました業績予想から変更ありません。

また、配当予想につきましては、平成30年2月20日の「株式分割、定款の一部変更及び配当予想の修正並びに株主優待制度の変更に関するお知らせ」で公表いたしました配当予想から変更ありません。

なお、上記の予想は、当社が現時点で把握可能な情報から判断する一定の前提に基づいた見込みであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	126,342	334,812
受取手形及び売掛金	2,568,477	2,568,423
有価証券	127,306	124,957
商品及び製品	1,373,104	1,692,197
原材料及び貯蔵品	8,587	10,763
その他	229,004	235,766
貸倒引当金	△2,669	△2,606
流動資産合計	4,430,154	4,964,314
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	167,791	171,982
土地	80,216	80,216
その他(純額)	39,719	53,616
有形固定資産合計	287,728	305,815
無形固定資産		
のれん	29,753	19,835
その他	82,657	114,896
無形固定資産合計	112,410	134,732
投資その他の資産		
その他	388,699	404,208
貸倒引当金	△11,259	△11,446
投資その他の資産合計	377,439	392,762
固定資産合計	777,578	833,310
資産合計	5,207,732	5,797,625
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,322,899	1,137,826
短期借入金	180,000	700,000
1年内返済予定の長期借入金	406,962	384,074
未払金	505,749	510,067
未払法人税等	83,735	110,786
賞与引当金	42,805	26,456
役員賞与引当金	—	30,910
返品調整引当金	12,384	8,135
その他	170,090	140,178
流動負債合計	2,724,626	3,048,434
固定負債		
長期借入金	348,931	231,210
退職給付に係る負債	87,347	96,165
役員退職慰労引当金	134,210	140,578
その他	14,020	13,196
固定負債合計	584,509	481,150
負債合計	3,309,136	3,529,585

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	401,749	401,749
資本剰余金	365,001	365,001
利益剰余金	1,168,203	1,539,287
自己株式	△38,938	△38,938
株主資本合計	1,896,016	2,267,100
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,580	939
その他の包括利益累計額合計	2,580	939
純資産合計	1,898,596	2,268,040
負債純資産合計	5,207,732	5,797,625

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成30年2月28日)
売上高	11,165,601	13,450,287
売上原価	6,648,642	7,762,494
売上総利益	4,516,959	5,687,793
販売費及び一般管理費	4,094,964	5,078,881
営業利益	421,994	608,912
営業外収益		
受取利息	753	1,345
受取手数料	3,149	4,049
その他	3,147	3,685
営業外収益合計	7,050	9,080
営業外費用		
支払利息	5,266	3,579
為替差損	3,366	6,222
その他	742	371
営業外費用合計	9,374	10,173
経常利益	419,670	607,819
特別利益		
関係会社株式売却益	—	1,492
特別利益	—	1,492
特別損失		
固定資産除却損	—	6,260
減損損失	739	6,662
特別損失合計	739	12,922
税金等調整前四半期純利益	418,931	596,389
法人税等	109,864	169,411
四半期純利益	309,066	426,977
親会社株主に帰属する四半期純利益	309,066	426,977

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年6月1日 至 平成29年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年6月1日 至 平成30年2月28日)
四半期純利益	309,066	426,977
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,715	△1,640
その他の包括利益合計	1,715	△1,640
四半期包括利益	310,782	425,336
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	310,782	425,336

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(重要な後発事象)

当社は、平成30年2月20日開催の取締役会決議に基づき、当社株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図るため、次の株式分割を行っております。

1. 分割の割合及び時期

平成30年4月1日付をもって、平成30年3月31日（当日は株主名簿管理人の休業日につき、実質的には平成30年3月30日）の株主名簿に記録された株主の所有株式数を、1株につき2株の割合をもって分割する。

2. 分割により増加する株式数 普通株式3,904,000株

3. 1株当たり情報に及ぼす影響は、「サマリー情報」に反映されております。